

## 財団法人日本文学振興会 平成20年度事業報告書

### 事業の状況

1. 平成20年4月7日(月)午後5時より、銀座「松山」にて第39回大宅壮一ノンフィクション賞の選考委員会を開き、受賞者および受賞作品を下記の通り決定した。  
城戸 久枝「あの戦争から遠く離れて 私につながる歴史をたどる旅」  
山田 和 「知られざる魯山人」  
その贈呈式および披露宴は6月23日(月)午後6時より「帝国ホテル」3階「富士の間」にて開催、受賞者に正賞100万円を贈呈した。
2. 平成20年4月16日(水)午後4時より、「ホテル西洋銀座」9階「プライベート ダイニングルーム」にて第15回松本清張賞の選考委員会を開き、受賞者および受賞作品を下記の通り決定した。  
梶 よう子「一朝の夢」  
その贈呈式および披露宴は6月23日(月)午後6時より「帝国ホテル」3階「富士の間」にて開催、受賞者に正賞時計、副賞500万円を贈呈した。
3. 平成20年7月15日(火)午後5時より、築地「新喜楽」にて第139回芥川龍之介賞および直木三十五賞の選考委員会を開き、受賞者および受賞作品を下記の通り決定した。  
芥川賞 楊 逸 「時が滲む朝」  
直木賞 井上 荒野「切羽へ」  
その贈呈式および披露宴は8月22日(金)午後6時より「東京會館」9階「ローズルーム」にて開催、受賞者に正賞時計、副賞100万円を贈呈した。
4. 平成20年10月9日(木)午後6時より、築地「新喜楽」にて第56回菊池寛賞選考顧問会を開き、下記の五件の受賞を決定した。  
宮尾登美子  
日本の伝統文化や歴史の中の女性の生き方をテーマに数々の名作を執筆  
安野光雅  
絵画、デザイン、装幀、文筆など多方面にわたるすぐれた業績

北九州市立松本清張記念館

水準の高い研究誌を刊行しつつ多彩な企画展を開催し開館十周年を迎えた  
かこさとし

絵本作家、児童文学者としてのユニークな活動

羽生善治

将棋界の頂点に立ちながら、将棋の創造性、魅力を発信している

菊池寛賞の贈呈式および披露宴は12月5日(金)午後5時より「ホテルオークラ」本館1階「曙の間」および「平安の間」にて開催、受賞者に正賞時計、副賞100万円を贈呈した。

5. 平成21年1月15日(木)午後5時より、築地「新喜楽」にて第140回芥川龍之介賞および直木三十五賞の選考委員会を開き、受賞者および受賞作品を下記の通り決定した。

芥川賞 津村 記久子「ポトスライムの舟」

直木賞 天童 荒太 「悼む人」

山本 兼一 「利休にたずねよ」

その贈呈式および披露宴は2月20日(金)午後6時より「東京會館」9階「ローズルーム」にて開催、受賞者に正賞時計、副賞100万円を贈呈した。